



みあさ

わたしたちのむら

- 人口 1670人
 - 男 810人
 - 女 860人
- 世帯数 427世帯
(52年7月1日現在)

No.2 昭和52年7月20日発行 編集 北安曇郡美麻村役場総務課 印刷所 上水内郡小川村高府 西桑印刷所

新しい学校です この元気な子供達を 見て下さい!



(正面玄関から駆け出して来る三・四年生)

村の暦

6・7月

- 6月
 - 4日 河川清掃(金熊川)
 - 6日 連合衛生組合総会
 - 7日 学校交通安全教室
 - 11日 保健指導員会
 - 15日 選挙管理委員会
 - 19日 家庭学級
 - 20日 河川清掃(土尻川・新行)
 - 20日 第一次結核住民検診
(大塩・二重・新行・高地)
二百五十名
 - 21日 (青具・千見)二百九十九名
 - 25日 村内河川パトロール
 - 26日 消防団幹部訓練
 - 27、29日 移動保健所(二百三十
二名)
 - 28日 県道交通量調査
 - 28日 議会議員五十一年度実施建
設現場視察
 - 29日 村道交通量調査
 - 29日 月例会計監査
 - 農業委員会
 - 千見集落住宅工事入札
 - 30日 土木工事入札 五ヶ所
(村単道踏踏装・災害復旧)
- 7月
 - 3日 二重消防団設立七十周年記
念式典
 - 5日 第四回臨時村議会

…つづつておきましよう…

第四回臨時議会報告

七月五日に第四回臨時議会が招集され、全議員が出席し長時間にわたって審議がなされました。今回提出された議案は次のとおりです。

○専決処分の承認を求めることについて

○集落整備事業千見地区集落住宅新築工事の請負契約について

○昭和五十二年産米価に関する意見書について

○一般会計補正予算(第二号)について

○国保診療所特別会計補正予算(第一号)について

○国保(へき地診療所)特別会計補正予算(第一号)について

○国民健康保険税条例の一部改正について

このほか、学校建設祝賀会と南保育園の新しい地区父兄会から提出された松本電鉄定期バス廃止問題についての請願についても討議されました。

○専決報告は、五十一年度の整理予算で、一般会計ほか有線、国保小岩橋保養センターの各特別会計の専決予算が報告されました。一般会計では、義務的経費を極力お

さえた結果二千五百万円の財政調整資金を積立ることができました。

○国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法の改正に伴い国保税の限度額現行一五万円が一七万円に、四割軽減世帯の被保険者一人当り基準額現行一四万円が一五万円に引き上げられ、また擬制世帯主課税が廃止されこれに伴う異動の月割課税の条例が制定されました。以上の改正は昭和五十二年産分課税から適用されます。

○村の財務規則により一千万円以上の契約については議会の承認を受けることになっているため、集落整備事業千見地区集落住宅新築

工事の請負契約について議会の承認を求めました。この件については藤井議員から、住宅建設を二件に分けた理由及び、村内業者育成について質問が出され、村長は、十二月末までに入居できるようにしたいこと、一括入札すると一億円以上の工事費となり村内業者を入札に参加させることができないこと等のため、集会所とさらに住宅を二件に分けた。入札の結果村内業者は落札できなかったが、建設工事はすべて、県の指名基準に準じて指名し入札に参加させているが、今回は、村内業者については指名基準を下げて入札に参加させた旨答弁がありました。

○昭和五十二年産米価は、政府買入れ基本価格を一俵二万円以上にし、早急に農業経営の基本施策、米麦一体の総合食糧政策を確立するよう求めた意見書を、全員の賛成で議決し、内閣総理大臣、農林大臣、大蔵大臣に意見書を提出することにいたしました。

○一般会計補正予算の主なものは、役場庁舎増築工事費、千見集落の水道建設工事費、参議院議員選挙執行経費、藤・大塩・池の平地区の集会所新築補助金(集会所新築・改築の場合六割の補助金が出ます)、教育費では、学校建設祝賀会関係費用、学校グラウンド夜間照明施設工事費等総額二千五百万一千円を追加しました。



議 会 風 景

○松本電鉄木崎切り湯の海線の定期バス廃止に関する請願については、単に保育園児の通園問題だけではないので、かねてより松本電鉄と運行継続の話し合いをしており、これからも最大限の努力をしてまいらるよう請願の採択をいたしました。

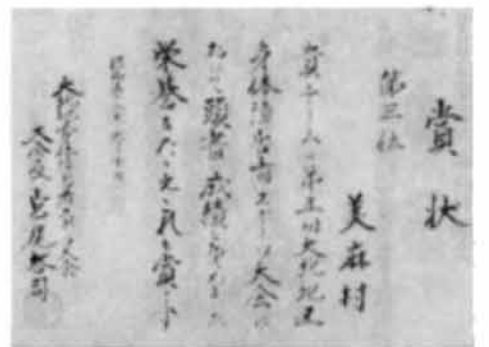
○学校建設祝賀会については、五月二十七日に記念行事準備委員会が設けられ、種々の検討が行なわれ当初からの計画通り村内外来賓村内一般の方、全員で祝賀会が行なわれる様、報告し了承されました。

美麻健闘

六月十日大町市西公園グラウンドで、第五回大北身体障害者スポーツ大会が開催され、大北地区各町村から約二百名が参加し、二十一種目の競技に熱戦が展開されました。本村からは、二十名が参加し、みごと三位に入賞しました。

この大会は、大北地区の身体障害者が一同に会し、スポーツを通じて、友愛を深めながら体力の増強と、機能の回復を図り積極的な格を養うために行われたもので、あいにくの雨模様で天気でしたが参加者達は、大会スローガンの『失なわれたものをかぞえるな、残っているものを最大限に生かせ』の

もとに、仲間にな大きな声で応援されながら一 命競技をしていま



した。

なお、来年は松本市で第十四回全国身体障害者スポーツ大会が開催されます。県では、この大会の成功を願って呼び交す「スローガン」を募集しています。

スローガンは、身体障害者の自立更生にふさわしく、明朗、友愛積極性を表わしたもので、表現は簡潔にして下さい。

応募方法は、官製葉書一枚に一点とし、住所、氏名、年齢、性別職業(学生は学校名・学年)電話連絡先を明記して下さい。応募点数の制限はありません。

応募先は、〒三八〇 長野市県庁内障害福祉課第十四回身体障害者スポーツ大会長野県実行委員会
締切日は八月三十一日(当日の消印があれば有効です)

当面の 稲作管理

北安曇農業改良普及所
技師 柳沢 憲作

心配された五十二年の稲作も、

田植後一時風に吹かれ種え痛みを受けた他は大した災害もなく、幼穂形成期を向えようとしています。昨年は異常ともいえる冷夏に見舞われ、凶作の年となった訳ですが今年には是が非でも昨年の二の舞は避けなければなりません。その意味でも、今後の天候が多少不順であっても、被害程度の軽い安全な水稲栽培が要求されます。

本年の村内の生育状況は今のところ、平年並か二、三日の遅れといったところで、いずれにしても今後の天候如何によって左右される訳ですが、その心配される天候は平年並ということですが、

田植後から今までの不順天候による生育の遅れは、夏の天候如何である程度取り戻されますが、これからの七、八、九月の三ヶ月の不順天候はそのまま減収と結びつきます。とりわけ幼穂形成期→穂ばらみ期→出穂期→開花期→登熟期といったこれからの生育過程の中で、穂ばらみ期から開花期にかけての天候が一番重要であり、昨年はたまたまこの時期に異常低温と冷雨が重なって、記録すべき被害となったのです。

そこで、これからの稲作管理としては、この危険な時期を安全に乗り越え、秋になって平年並の収量を上げ得るように工夫されなければなりません。そのためには、止水管理を徹底し稲の生育を遅らせないこと、無理な追肥は極力避けることなどが必要となります。本来幼穂形成期から出穂までは二十五日かかる訳ですが、低温になればなるほどこの時期が長くなり、出穂・開花が遅れます。平年の気候であれば、八月十五日頃までに幼穂出来れば減収はしません。それが、その後出穂したもの、日を追って減収割合が高くなります。従ってこの時期の水管理は絶対に冷水の掛け流しはやめ、浅水で止め水管理とし、穂ばらみ期から出穂・開花の時期は深水にし稲の生殖成長を保護するようにします。また、幼穂形成期後に無理な追肥を行わないことも大切です。この時期の追肥を一般に穂肥と呼んでいますが、穂肥は後の稲の生殖成長に大きく関与し、またいもち病を激発させる要因ともなり易いのです。

穂肥の適期と適量は表①の通りですが、酷くまでも稲の作柄と見

合わせて施さなければなりません。幼穂形成期時点において肥料切れし黄化現象が出たら、幼穂長が二〜三ミリに伸長した頃施し、以後黄化するようだったら、それから

表① 穂肥の適期と適量 N成分 kg/10a

稲草の状態		出穂 22~23日前	出穂 17~18日前	出穂 17~10日前	備 考
幼穂形成期	分けつ	多	い	2	穂数増加の20日前はさける
	葉色	標準または少ない	3.0~3.5	1.0~1.5	葉色に注意
		淡く黄化現象がでた	3.0~3.5	1.0~1.5	茎数はどうか
		わずかに黄化現象がでた	1.0~1.5	1.0~1.5	・
品種	黄化現象がでない	おくらす	1.5	みだれ葉不可	
品種	倒伏しやすい、着粒数が多い		1.5		

表② 品種別必要茎数の目標

品 種 名	3.3㎡当り80株の1株目標本数
ハウネンワセ	20~25本
トドロキワセ	20本
よねしろ	15~18本
アキヒカリ	18~20本

一週間後に施すようにします。幼穂形成の診断は、平均的な株の中から一本抜き取り、カミソリで割って肉眼で判定します。また、この頃における品種別の必要茎数の目標は、表②のとおりとします。昨年のように梅雨明け後、夏季の気温が一般に低めで経過すると穂首いもち病が収穫間際まで発生しますが、これも穂肥が多量にはいるほど発生程度は多くなります。また、収穫時の稲の倒伏も目立つようになるので、気をつけなければなりません。

いもち病は気温が24〜28度を活動適温とし、多雨日照不足で稲の抵抗が衰えると発生します。梅雨期間中において、葉いもち病菌は既に稲の体に侵入しており、梅雨

明けと同時に発生して来ます。葉いもち病の治療方法としてはブラエス、ラブサイド等の粉剤を集中散布します。最近、いもち病の予防薬としてキタジnPの粒剤があります。穂首いもち病を予防する意味で出穂二十日前に水面散布すれば、一ヶ月間くらいいもち病の発生を抑える効果があります。また、稲の病害虫で最近特に問題になっているものに、カメムシがあります。このムシは、既に成虫となって田の畦草などに生息しています。そして稲が出穂すると同時に稲穂に移動し、乳熟期の穂から乳汁を吸取して、被害を与えます。被害米は斑点米と呼ばれ、極の等級を下げる要因にもなりますので、出穂前後にスミバツサ粉剤等の農薬の散布を徹底します。以上、当面の稲作管理について述べて来ましたが、いずれにしても、これからの天候如何によって収穫時の収量が大きく影響されます。気象予報によれば、今年の夏は平年並の気候ということですがひとつ慎重な米づくりに心がけるようにしましょう。



千見地区集落整備事業 住宅建設工事入札

過疎地域集落整備事業は、昭和五十年から実施され、すでに大倉・袖・真倉・奈良尾の十五戸が真倉口の川手部落に移転し、小境・立野屋敷平の三戸が米山部落と中村部落に移転しています。

昨年度に用地取得して宅地造成工事を行なった千見地区の集落整備事業は六月二十七日に現場説明を行ない二十九日に入札を実施しました。

入札は工期等の関係もあり、集会施設と住宅を十一戸と五戸に分けて実施したところ、集会所は、有限会社平林工務店ほか五社の指名競争入札の結果、平林工務店が九百五十万円で落札しました。

住宅建設は、十一戸と五戸に分けて実施しましたが、十一戸分は株式会社相模組ほか五社の指名競争入札の結果相模組が七千五百五十万円で落札しました。また、五戸分は、株式会社果工務店ほか五社の指名競争入札の結果果工務店が、三千四百万円で落札しました。工期はいずれも十二月二十日までです。

関連公共施設は、給水施設、配

電施設を設置しました。

これらの事業を実施するため必要な事業費として一億五千五百六十万円の予算を計上しており、これは予算総額の十九・一%も占めています。財源としては、事業費の八十四%を過疎債という借金に頼っており、次いで国の補助金が七十一%、残りが一般財源です。



千見集落宅地造成地

土木工事入札状況

六月三十日に、災害復旧工事三件、舗装工事二件の入札を行いました。

災害復旧工事は、五十一年災公共土木施設(村道)災害で、村内五社の指名競争入札の結果

- 矢久、神城線字大倉
- 大笹・細貝線字石うれ
- 限会社美麻興業
- 限会社小藤線字藤上
- 限会社高橋組
- 限会社村単舗装工事は、峯村組ほか二社の指名競争入札の結果
- 限会社中央線字校下
- 限会社湯の海・千見線字外山
- 限会社株式会社峯村組

この道は これだけ車が 通ります

六月二十八日に県道、二十九日に村道の交通量調査を行いました。調査地点は県道川口大町線が中村・小島信濃水崎(停)線、新行・主要地方道長野大町線、一字田・青具神城(停)線、米山・村道中央線役場・湯ノ海千見線、外山部落で各調査点とも前回(四十九年)より自動車類の交通量は増えています。この調査は全国道路交通情



調査風景(新行)

勢調査の一環として行ったもので道路改良・建設等の道路計画の基礎資料を得るため、三年ごとに実施されます。調査は、午前七時から午後七時までの十二時間で、上り、下り各方向の交通量を調査しました。

調査結果 (上段上り、下段下り)

種別	普通貨物	貨客車	小型貨物	軽貨物	バス	乗用車	軽乗用車	二輪車	自転車	歩行者
県道 長野大町線	38	84	60	30	27	250	16	37	3	43
県道 川口・大町線	35	56	49	15	15	91	8	27		35
県道 小島信濃水崎(停)線	5	17	15	19	8	34	2	17	0	4
県道 青具・神城(停)線	5	35	14	28	12	90	10	22	1	54
村道 中央線	13	47	52	17	15	117	6	19		80
村道 湯の海千見線	1	23	10	5		24	8	15	10	82
	1	16	11	3		22	10	17	10	73

駐在所だより

一、夏・心と窓にカギ
夏は、盗難事件、性犯罪の予防に注意して下さい。

○夜、休む時や、家を留守にする際は、しっかり戸締りをして下さい。

○チカンにご用心
甘い誘いにのらない。
暗い夜道の一人歩きはしない。
一〇番プザーやサイレン付懐中電燈を活用する。

○少年の健全な成長を害する出版物、広告物など、非行化の温床となりやすいものを、みんなの力で排除して、少年をとりまく環境の浄化に努めましょう。



二、水の事故防止
今年に入ってからの水難事故は一〇三才のヨチヨチ歩きの子供の事故が大部分を占めています。場

で助けを求めて下さい。
○少年の健全な成長を害する出版物、広告物など、非行化の温床となりやすいものを、みんなの力で排除して、少年をとりまく環境の浄化に努めましょう。

国民年金について

昭和三十六年に国民年金制度がつくられてから『国民皆年金』という言葉が使われるようになりました。それは、それまでであった厚生年金・船員保険・各種の共済組合などに入らなかった人が、国民年金に必ず加入しなければならなくなりました。日本中のだれもが、なんらかの年金制度に加入することになったからです。

国の負担による福祉年金の制度も設けられました。福祉年金には、老齢福祉年金、重度の障害者に対する障害福祉年金、母子福祉年金、準母子福祉年金があります。

国民年金は、日本中のだれもが年金を受けられることを目的にして制度化されましたから、農林業自由業等の人や家族は、二十才以上になると本人の意志に関係なく必ず加入することになっています。しかし、他の年金に加入している人はもちろん加入できません。その人の配偶者は強制加入をされませんが、任意で加入することができます。強制加入でも任意加入でも掛金、年金額はまったく同じです。妻が国民年金に加入するとならない場合は、夫婦で受ける年金の額は大きな違いになります。年金額は物価の上昇に合わせて正されてきました。昨年の十月にも大幅な引き上げがなされましたが、この七月からまた

年金額が9.1%増額されます。実際に皆様が受取れるのは、六・七・八月分が支払われる九月の支払月からになります。また福祉年金は八月から引き上げられます。国民年金は、給付費の三分の一を国が負担していますが、短期間に各種年金額が大幅に引き上げられたこともあって、かなりの保険料引き上げが必要となりました。このため保険料が四月から一ヶ月に二千二百円に改められました。国民年金制度をより良くするため、保険料の納付にご協力下さい。なお保険料を前納しますと、五分五厘の割合で割引されます。国民年金については住民課の高橋政子が係ですのでお気軽に相談下さい。

所は、用水路や庭池で家族がちょっと目を離したすきに起きています。○ 小さな子供に目をはなさない ○ 危険な場所で遊んでいる子供を見たら、一声注意してやめさせましょう。三、ストップ・ザ・暴力 ○ 「長いものにまかれろ」、「かかり合いになりたくない」という考えは、暴力犯罪を許すことになりません。「暴力は絶対に許さない」という強い気構えを、まずしっかりもっていただくことをお願いします。○ 警察ではお礼参りをされないように、保護に万全の措置をとります。被害にかかったら勇気を出して届けて下さい。

年金制度は老後の所得保障を一番の目的にしています。からだは健康で、いつまでも元気に働けることはだれもの願いですが、いつか老齢で働けなくなる日の来ることは残念ながら避けることができません。また不慮の事故、病気等により障害を受けたり死亡した場合、その家庭は大きな打撃を受けます。この様な場合、障害年金や母子年金・遺児年金・寡婦年金等があれば、ほんとうに助かります。国民年金制度は、ほかの年金と同じように、あらかじめ保険料を納めた人に年金が支給される拠出制を主体としています。昭和三十六年にこの制度ができたとき、既に老齢、障害、母子の状態にあった人や、きめられた保険料が納められなかった人のために、全額

人生の節々に年金が用意されています

65才から老齢年金
夫が亡くなった時 寡婦年金
両親が亡くなった時 遺児年金
国民年金へ加入
20才
障害年金
障害をうけた時
準母子年金
生活中心者が亡くなった時

年金額はまったく同じです。妻が国民年金に加入するとならない場合は、夫婦で受ける年金の額は大きな違いになります。年金額は物価の上昇に合わせて正されてきました。昨年の十月にも大幅な引き上げがなされましたが、この七月からまた

乾電池は使わなくても自然放電します。製造年月日確かめて新しいものを買ひましょう。

製造月 7月 製造年 1977

製造年月日の読み方

- 一家破滅の元になる飲酒運転は絶対にしない。
- 四、上高地の交通規制
七月二十三日から八月二十一日まで、マイカーの場合は途中の沢渡でバス等に乗り換えることとなります。詳しいことは駐在所へ。
- 夏、夏の交通事故防止
居眠り運転に注意しましょう。同乗者は、運転者のねむそうなようすが見えたら、早目に休憩させる。
- 「長いものにまかれろ」、「かかり合いになりたくない」という考えは、暴力犯罪を許すことになりません。「暴力は絶対に許さない」という強い気構えを、まずしっかりもっていただくことをお願いします。
- 警察ではお礼参りをされないように、保護に万全の措置をとります。被害にかかったら勇気を出して届けて下さい。

お茶の間 村 史



麻の話題 (2)

今回は千見の津滝利次郎さんにお話を伺いました。津滝さんは長年麻の検査員をされ、また麻の普及・改良に尽力されました。

この地方の麻の歴史は古く、西暦七六四年天平宝字八年十月、安曇郡から布・袴が献上され、奈良正倉院御物として現存しており、昔から麻の野生が多かったことがわかります。そして、衣料用繊維植物として広く栽培されるようになりましたが、十六世紀の終り頃から綿花も栽培されるようになり麻は地方的な特産物になってきました。

美麻村が麻の特産地として今まで続いて来たのは、麦は雪のため良くできず、養蚕は霜が遅いので春蚕が飼えず他にこれといった産物が無かったことと、麻は古から自生していたと思われること、麻の適地であり、特に本村及び小川村小根山地区の一部は、麻の成長する五・六月に適度の雨が降りまた谷合のため風雨の害が少なくそして、麻を干す七・八月は雨が少ないこと、地力が高く広い畑があったため良質の麻を産し、ま

た、高度の技術を持ち高級品を生産していたからと思われれます。

津滝さんは長年麻の検査員を勤められ北安曇中の麻を検査されたそうですが、製品には製造方法の違いにより、鹿ノ子・山中(ヨソ)小白・大白・青金引(フリソ)の各銘柄と皮麻があり、おのおの特等から五等、等外の段階がありました。(山中・鹿ノ子は三等まで)

美麻は古くから山中(ヨソ)の産地として知られ、主に名古屋方面に出荷され、高級品として麻布織物用・魚網等に加工され、神事の必需品とされました。明治中期の用途別産地は、麻布・織物用として美麻・津和・南小川・神城村……豊系・ロープ等は青金引で産地は鬼無里・北小川・北城・北小谷・南小谷・中土・八坂・平・樺戸隠村等でした。

山中は高度の技術を要する製品で、その品質は特に女の人の技術の差に左右され、母から娘・姑から嫁と受け継がれ、伝統的に良い製品を作る家があったそうです。

今でも古い家には、麻かき場と呼ばれる部屋があって、こが女衆の仕事場で、朝早くから夜は十一時近くまで仕事をしました。嫁と姑が九尺に二間ほどの小さな部屋で一日中仕事をするので、嫁はたいへんだなと思つたら、同じ部屋で一冬を過ごすのだからとても喧嘩なんかし通せるものではなく、むしろ世間話をしたり、「嫁・姑のコミュニ

ニケーションがあり、嫁さんに來ても一冬たてばその家に融込むことができたそうです。

冬の夜の麻かき場は、若い男女の社交の場でもあったと聞きます。(話し)……昔は遊ぶことはなんにもないだからね。今のようにはゴム靴も無かったでワラジや雪の中はゴソソ・ちよっと気取つたやつは下駄なんか履いて、それに着る物(防寒着)が無いから「綿人ば



北学校体育館の麻検査・集荷風景

んでん」だつて言う綿の入つたはんでんをひっくり返しに頭へかぶつて、まあ、「麻かきば覗き」って言つて良い娘のいる家へ遊びに行つた。夜は暇だし、何も無いから……まあ、そうは言へても遊びてえし、それで若い衆は麻かき場の窓のところへ行つちやあ、歌を歌つたり冗談話をして「アハハ・アハハ」で笑つたり……それが唯一の楽しみで……女衆も今の様に工

場があるじやなし、それに麻をかかない人も冬は暇だから頼めば来てくれた。それに男衆が行つて遊ぶのを女衆も楽しみをしていたしそれに家の者もいいんだよ、笑いながら仕事できるし、それに眠たがらねえでね……悪い事さえないな

きや怒られたり煩いなんて言われただこたあ無かった。麻かき場は狭いでね、内へは入れなんだが窓を開けてな、窓を覗いたり、ガラスなら顔をくつつけたりして、まあ冗談言つて笑せたりした。まあそれがほんとうの楽しみだつたな。

それでな、麻をたんと作つていて麻かきとどうなんかな頼んでる家の衆は、男衆が来りやうまく話を続けてなかなか掃さねえようにしてな、そうすりや女衆は夜の十時でも十一時でも麻をかいてるでな、そんなにやつても次の日は五時か六時にやもう仕事させられたもんだ。それに嫁に行くつたつて「あれは麻かきが上手だ」つて一言いわれりやそれで良かった。まあこの辺に來るにやそれが条件だつた、それにあの家へ行きや麻かきかうまいてつたことがあった。伝統的なものだな、ほんとうに上手な嫁をもらえばその家はほんとに良くなつた。なんせ現金になる物が外に無いし、まあ炭や薪も作つたが、なんと言つても麻が主でまあこの金で一年中生活していたことになる。だいいじな作物さ……

つづく

戸籍の窓

(52・6・11・6・30)



★ 赤ちゃん
たんじょう
合津富吉 長男 英和 大塩
手塚廣敏 次女 久美子 大塩

★ おくやみ申し上げます
柳沢茂美 父 製袋信 大塩

★ すえながく
おしあわせに

中村三千雄
宮沢よし子 大町市へ

小林 清
小林初美 大町市へ

平林 厚
西沢美恵子 大町市へ

荒井 仁
酒井ゆき子 大町市へ

保坂久夫
山本千都子 埼玉県へ

編集後記

ようやく梅雨も上がり、青空に入道雲が浮かび夏らしくなりました。学校はもうすぐ夏休みになります。休みを利用して村の歴史や動植物の研究をして、このページで発表しませんか。